令和5年７月20日

ICTを活用した「つながりネットワーク」の運用を開始！！

医療や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、在宅医療と介護の連携が重要です。

このことから、ICTを活用した在宅医療と介護を連携する「つながりネットワーク」の運用を開始します。在宅医療と介護の連携がさらに進むことにより、地域包括ケアシステムが強化され、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現につながります。

※地域包括ケアシステムとは、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、「医療」、「介護」、「予防」、「住まい」、「自立した日常生活の支援（生活支援）」が、一体的に提供される体制

・運用開始日： 令和５年８月１日（火）から

・内　　容： 伊勢地区（伊勢市、玉城町、度会町、南伊勢町）で在宅療養を受けている方の支援に必要な情報について、ICTを活用し、多職種連携を行います。

・管 理 者： 伊勢地区在宅医療・介護連携センターつながり

・利用できる方： 伊勢地区内の医療機関に従事する医師や歯科医師、薬剤師、介護事業所等に勤務する介護支援専門員、多職種と連携する医療や介護の専門職

※「伊勢地区在宅医療・介護連携センターつながり」は、伊勢市、玉城町、度会町、南伊勢町の委託により設置されており、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域の医療・介護関係団体が連携して、包括的・継続的な在宅医療と介護を一体的に提供する支援を行います。